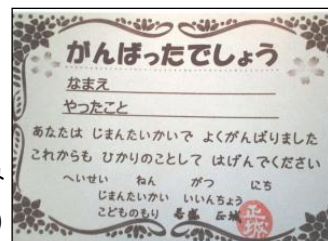


寒暖の差が激しい日が続いていますが、古木の梅も咲き始め、甘い匂いで子どもたちを包んでいます。園庭は氷が張ったり・溶けたりで、日陰と陽だまりの差があますが、子どもたちも乾いた場所を選んでの遊びが続いています。

昨日・本日で2日間の自慢大会ですみれさん頑張りました！

去る1月27日（水）に先生方の自慢大会をみて、子どもたちは憧れをもってその姿から自分なりに挑戦してみたいものを考えて練習してきました。園庭では「サッカーや鉄棒、竹馬や缶ぽっくり、バスケットボールやフラフープなど」。お部屋では「手編みやピアノ、飛び箱など」です。この「自慢大会」は、『自分が取り組みたいものを自分で選び、自分で目標に向かって身に付くまで練習をし、自分なりに納得できるように最後まで頑張っていく体験』のできる子を育てていければとの願いをもって計画したものです。そして昨日と本日、太陽の部屋にて全園児が集まる中で披露し合いました。



2月17日・・・①なわとび、②バスケット、③大縄跳び、④ゴルフ、⑤竹馬、⑥ピアノ

2月18日・・・①鉄棒、②缶ぽっくり、③フラフープ、④サッカー、

⑤手編み、⑥跳び箱です。



進行役の先生が種目の紹介でステージの幕が開くと、順番に自分の名前と披露する種目を言ってからスタートです。一人ずつ見せてくれる演技に、一緒に見ていたちゅうりっぷさんをはじめどの子も感動と尊敬の拍手が起きました。日頃から自分で練習してきたものなので本当に真剣でしたし、どの子もはじめはドキドキしたり、心配したりでしたが、幕が開き、自己紹介をすると、堂々と披露していました。終了した子には園長先生からの「がんばってしょう！」の表彰状を貰うと、自信に満ちた顔を見せてくれました。



幼い時期から自信の持てる生活を体験した子は大人になって社会で役に立つ人になっていきます。ご家庭でも応援をよろしくお願いいたします。また当園の子どもたちは、どの子も素直に他の子の応援のできる気持ちが育ってきているのはうれしいことです。この後3月下旬まで、小さな子たちは、すみれさんが見せてくれたものをまねながら頑張って取り組んでいけるのではないかと考えています。尚過日のすみれさんの「劇あそび」と「自慢大会」の映像は動画で残しましたので、ご希望の方はお申し出ください。